

大阪から公害をなくす会

第24回環境学校 ニュース NO.2

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19

内本町松屋ビル10 370号

TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121

発行責任 事務局長 久志本俊弘

「第24回 大阪から公害をなくす会「環境学校」 「必ずくる震災で、日本を 大阪を終わらせないために」

日時 2019年8月24(土)

場所 鶴見区民センター小ホール

講師の福和伸夫先生は、名古屋大学減災連携研究センター教授・センター長です。

実は、2011年当時の橋下府知事に対して、「WTCへの府庁機能の全面移転はダメ」と話した専門家(河田恵昭先生ら)の一人です。市民のために、いろいろと工夫されて、今回、「**プッチンプリンと紙皿**」を用いた「**体験学習**」も用意しています。市民にとって「**巨大地震**」を分かりやすく話していただきます。

みなさんは、南海トラフ地震を、リアルにイメージできていますか？

■つぎの震災は「破滅的」3つのトラフ地震が同時に起こったら？(著作1のp17~)

日本の歴史にはそれがあったのです。過去にあったことはこれからもあります。1707年、1854年・・・東海地震、東南海地震、南海地震の3つが同時発生？

■今回「プッチンプリンと紙皿」を準備しています。何をすればいいのでしょうか？

「巨大地震」とはどんなものか、ほとんどの人が「理解できていない」のではないかと。先生は、まずはそれをイメージすることが大事と。

当日は、全員にこの菓子を用意します。どんな「体験」するのでしょうか？



■映画「シン・ゴジラ」を見たことがあるでしょうか(著作1のp24)

東京湾に突如、シン・ゴジラが現れ、慌てふためく首相、政府関係者。普段と何も変わらない生活を送っていた人々の前で、次々と街を破壊。

これは東電福島第一原発事故をネタに制作された

もの。先生は、これが重要な映画だといっていますがなぜ？



■2011年の東日本大震災で、咲州庁舎が左右に3メートルの揺れ！

大阪市民に、大災害時には、府庁という建物は、震災後の対応・対策・救助救援において、もっとも重要な建物です。「この東日本大震災時に、震源から770キロメートル離れた大阪府で、55階建ての咲州庁舎が、最上階で左右に3メートル弱揺れました。当時の橋下知事は、「府の本庁舎を全面的に咲州へ移転する」計画を狙っていたが、それを断念！(著作1のp86)。福和教授も参加して、「長期周期振動」問題を指摘したとのこと(2011年8月19日付け新聞)

■超高層ビルをつくるのは、もうやめたほうがいい！(著作2のp268)

阪神淡路地震後から、構造設計に対して「長周期」「長周期地震動」対策をと言いつつ、超高層ビルは大阪の上町断層が横に4メートル動いたら、まずい。「超周期地震動対策」を2017年に出したが、大阪湾岸では超高層ビルをつくりにくくなっている？